

単元名 「森林環境について考えよう」 (総合的な学習の時間)

1 学習のねらい

- 身近な森林環境について興味・関心を高める。
- 森林の働きについて理解することができる。
- 森林環境を守るためにはどのような取組が必要か考えることができる。

2 単元の指導計画 (総指導時数47時間)

- (1) 学習課題を決め、学習の計画を立てる。・・・・・・・・・・・・・・・・ 4時間
- (2) 身近な森林や、フォレストパークあだたらで森林について学ぶ。・・・・ 18時間
- (3) 新たな疑問や追究して調べたい課題について調べる。・・・・・・ 15時間
- (4) 学習したことをまとめ、発表する。・・・・・・・・・・・・・・・・ 10時間

3 学習活動の実際

- (1) 学習テーマ「フォレストパークで森林について学ぼう」・・・(2) 4～7時
- (2) 体験的な活動を通して森林についての興味・関心を高めるとともに、森林の働きについての理解を深めることができる。

(3) 学習活動

① 森の案内人の説明を聞きながら、森林を散策する

森の案内人とともにフォレストパーク内の森林を散策した。木の種類によって葉の形や大きさが異なること、森林には多様な植物や動物が生きていること等を説明していただいた。身近には無い大きな葉や、木の実などに触れながら説明を聞くことで、森林への興味・関心を高めることができた。

② 森の案内人に、疑問に思ったこと等を質問する

学習計画を立てる際に、学校周辺の林を観察して調べたいことを整理し、質問事項もまとめておいた。そのことを中心に森の案内人に質問した。また、当日森林について説明を受けながら、疑問に思ったことはその場で質問した。学校周辺の森林との違いにも気付き質問する姿が見られた。

③ 森林館で、森林の働き等について知る

フォレストパーク内の森林館では、展示している木や森林の地図等をもとに、木材や森林の働きについて説明を受けた。自分たちが図書資料等で調べた内容よりも詳しい説明を聞き、森林についての理解を深めることができた。帰校後は、調べたことをまとめるとともに、新たな疑問について話し合い、次の学習課題を設定することができた。